

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5-8号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋1-1

ダイキン工業(株) 油機事業部企画部

TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865

第36回政策委員会開催される

第36回政策委員会を2022年12月22日(木) 16:00~17:00に開催し、2023年度の事業計画(案)と収支予算(案)等について審議しました。詳細は以下の通りです。



政策委員会の審議風景

2023年度の事業計画の概要

1. 需要対策事業

フルードパワー産業の市場動向を把握するため、建設機械業界や半導体製造装置業界等ユーザ業界の設備投資、自動化・省力化投資動向等についてミクロ・マクロ両面から調査・分析し成果を

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第36回政策委員会の開催	1		
委員会開催・活動状況			
標準化事業	5	今後の主要行事予定	11
技術調査事業	7	統計資料	13
中小企業関連事業	7		
その他事業	9		

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL : <http://www.jfpa.biz/>

公表する。また、フルードパワーの受注・生産・出荷動向等の定期配信の迅速化に努める。そのため、以下の事業を実施する。

- ① 総需要委員会において、2023年・年度及び2026年・年度の油空圧機器の需要見直しを作成するとともに、必要に応じて2023年・年度の見直し作業を行い関係者に資料配布する。
- ② フルードパワー機器の受注・生産・需要部門別出荷・輸出等市場動向に関する調査を実施し、関係者に配布する。
- ③ 需要業界等関連団体の情報や統計資料を迅速に収集し関係者に配布するとともに、必要に応じて関連団体の関係者を招いて意見交換する。
- ④ その他需要対策に必要な事業を実施する。

2. 国際交流事業

米中経済摩擦から始まった、グローバル化が叫ばれた世界から経済安全保障の在り方が問われる国際社会の変化、そして、地域紛争の拡大や新型コロナウイルス対策の変遷など、国際情勢は大きく動いている。国際委員会活動を中心に、世界の政治経済動向を注視し、JETROや各国の関連工業会との連携活動等による情報収集に努めるなどの事業を実施する。

- ① 海外のフルードパワー産業に関する情報の収集を行う。

イ) 海外フルードパワー工業会等との意見交換・連携強化を図る。4月に、ハノーバーメッセ開催に併せて、欧州、ドイツのフルードパワー工業会と情報交換する。

ロ) 中国、米国、欧州等海外動向に関する情報収集と分析を行い、必要に応じて講演会の開催を検討・実施する。

ハ) 国際サミット・国際統計委員会に参加し、その結果を会員に提供する(2023年4月実施予定)。

ニ) 国際委員会の内外視察を検討し、必要に応じて実施する。

- ② 会員企業の海外進出状況調査を行うとともに、在外公館等と連携して情報や資料の収集を行い迅速に提供する。また、必要に応じて講演会を開催する。
- ③ その他、国際交流に必要な事業を実施する。

3. 標準化事業

関連産業界のグローバル調達への対応や設計の簡素化・各産業界の合理化・高度化に貢献するため、大学関係有識者の協力を得て、ISOやJIS、団体規格の新たな制定・改廃等以下の事業を実施する。

1) ISO対策事業

- ① ISO規格について検討し、必要に応じて、制定・改正もしくは廃止を行うとともに、我が国提案のISO規格化の推進を図る。

イ) ISO中央事務局から配信される各規格開発の審議案件に関して、該当する国内対策分科会にて審議を行い、日本意見として答申する(JKA補助事業)。

ロ) ISO/TC131/SC5/WG5(空気の調質)において、ISO 20145/AMENDMENTのANNEXに盛り込むことが承認された日本案(JIS B 8379:空気圧用消音器)の内容の原案作成をドイツと共同で推進中である。今後、規格値の設定と規格化に向けて、継続的な活動を行っていく(JKA補助事業)。

ハ) ISO/TC131/SC9/WG2(空気圧システム)において、空気圧システムの省エネルギー効果の算出・評価に関する規格に関して、日本担当の計測と状態監視に関する案を提出し、国際会議でプレゼンした。今後、ドイツ、フランスからの提案とまとめ、規格化に向けて推進していく(JKA補助事業)。

- ② ISO国際会議への積極的な参加を行う。

イ) ISO/TC131関連の国際会議へ委員を派遣(2023年5月:ドイツ・フランクフルト、2023年10月:アメリカ・アトランタ)する(JKA補助事業)。

ロ) ISO/TC118/SC3及びSC4の国際会議へ委員を派遣する(JKA補助事業)。

- ③ ISO/TC131/SC7(密封装置)の幹事国業務(委員会メンバー各国との連絡・会議運営・規格開発の進捗管理等)を遂行する(JKA補助事業)。

2) 規格事業

日本産業規格(JIS)及び日本フルードパワー工業会規格(JFPS)について審議し、必要に応じて、制定・改正もしくは廃止を行う。

- ① 日本産業規格(JIS)

イ) 継続 : 1 件

- ・ JIS B8377-2 油圧・空気圧システム及び機器—シリンダの試験・検査—第 2 部 : 油圧シリンダ受渡検査 (2022 年 10 月～2023 年 5 月)

ロ) 新規 : 6 件

- ・ JIS B2355-1 油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手—Oリングシールによるメートルねじポート及び継手端部—第 1 部 : Oリングシールポート (2023 年 4 月開始予定)
- ・ JIS B8392-4 圧縮空気—第 4 部 : 固体粒子含有量の試験方法 (2023 年 4 月開始予定)
- ・ JIS B8396 油圧—シリンダー往復動用ピストン及びロッドシールのハウジング—寸法及び許容差 (2023 年 7 月開始予定)
- ・ JIS B8664 油圧—減圧弁, シーケンス弁, アンロード弁, 絞り弁及びチェック弁—取付面 (2023 年 10 月開始予定)
- ・ JIS B8381-2 空気圧用継手—第 2 部 : 熱可塑性樹脂チューブ用締込み継手 (2023 年 10 月開始予定)
- ・ ISO 18413 の JIS 化 Hydraulic fluid power — Cleanliness of components — Inspection document and principles related to contaminant extraction and analysis, and data reporting (2024 年 1 月開始予定)

② 日本フルードパワー工業会規格 (JFPS)

- ・ 現時点で予定なし

4. 技術調査事業

フルードパワー産業の高度化・合理化・省エネ化並びにデジタル化・IoT 化等に資するために、フルードパワーシステム学会とも連携し、新技術情報等を収集し提供を行う。また、次世代のフルードパワー業界を支える若手技術者の育成を支援する。そのために、油圧部会・空気圧部会、水圧部会及び I o T 推進部会にて、以下の活動を実施する。

1) 油圧部会・空気圧部会

- ① 若手技術者のスキルアップと業界技術者間のコミュニケーションの向上のため、若手技術者懇談会を開催する。懇談会は、講師を招聘しての参加者全員が発表する方式の勉強会及び受け入れ可能な企業への工場見学会など実施する (年 2 回程度)。
- ② 実用ポケットブックの次期改訂に向けた活動を開始する。具体的には、2025 年発行に向けて、上半期 : 編集委員会の設置、編集方針・スケジュールの策定、下半期 : 改訂作業の着手を実施する。
- ③ カーボンニュートラルに関して、ISO 規格の JIS 化情報、輸出規制、温室効果ガスプロトコル等の規制・規格に関して、情報収集と提供を実施する。
- ④ フルードパワー業界の技術高度化、市場拡大に繋げる一助にするために、会員企業各社で希望される技術テーマを募集・選定し、技術講演会として開催する (年 2 回程度)。
- ⑤ REACH 規制、RoHS2 規制等の各種環境規制に関して、情報収集と提供を実施する。具体的には、各種環境規制に関する一般セミナー情報を HP でアナウンスすることにより、業界各社の取組みをサポートする環境を構築する。
- ⑥ 空圧機器業界の知的財産に関する事業を推進するため特許分科会を開催する (年 12 回開催予定)。
- ⑦ 中央職業能力開発協会からの要請に応じて、油空圧機器部門の中央技能検定委員の推薦、及び必要に応じて会員企業への情報提供を行う。
- ⑧ その他、油圧・空気圧技術に関する諸問題

に対応する。

2) 水圧部会

- ① 水圧技術の普及促進を図るため、各機能グループ別に活動を展開する。
 - イ) 広報グループ：HPの「水圧ブログ」活用により、水圧技術状況及び当部会委員各社の取組み状況を情報発信し周知を図る。
 - ロ) 市場調査グループ：各種展示会等の視察や出展を通じ、市場動向の調査を行うと共に、需要分野の開拓に繋げる。
- ② 上記市場調査グループ活動により得られたユーザ情報を基に、ニーズのあるユーザを訪問する。
- ③ 水圧技術の研究動向を調査・把握するために、フルードパワーシステム学会・研究者との積極的な交流を図る。
- ④ 国内外の水圧技術（知的財産権問題も含む）の動向や情報収集等を行うとともに、必要に応じ国際会議への参加を検討する。
- ⑤ その他水圧技術に関する諸問題に対応する。

3) IoT推進部会

本部会設立後1年半が経過し、①技術動向や他社事例等、更なる情報収集が必要、②フルードパワー業界としての具体的な取り組みへの着手が必要、との意見が多く出てきており、それに対応する事業を中心に行う。

- ① 技術動向や他社事例等の情報収集の継続
 - イ) 一般的で概要的な内容の技術動向ではなく、IoT、AI、DXに関する具体的な技術内容のセミナー的な情報収集を実施する。理解度や要望によっては、数回連続して行うことも検討する。
 - ロ) 各社の取組状況を相互に発表し情報共有する。その際、概要紹介だけにとどまらず、苦勞している点や工夫した点も可能な範囲で情報共有し、全体のレベルアップに繋げる。
 - ハ) IoT、AI、DXに関する展示会を視察し情報共有する。
- ② フルードパワー業界としての具体的な取り組みへの着手
 - イ) フルードパワー業界としてIoTを普及するための具体的なテーマを決定する。候補として、通信規格の標準化、IoTの技術や知識に関するハンドブックの作成、共通利用

可能なクラウドプラットフォームの構築など、が挙げられている。

- ロ) 部会全体として統一したテーマだけでなく、生産系と開発系にグループ化し、各々適切なテーマも模索する。例えば、生産系は工場設備への適用、開発系は新製品・サービスとしてのソリューションへの適用などである。

5. 広報・PR事業

電子メールやHP等を活用し、会員企業に適切な情報を迅速に提供する他、工業会の活動状況等について会員企業はもとよりマスコミ・シンクタンク・金融機関等にも広く提供し、工業会活動の「見える化」を一層進める。

- ① 機関誌「フルードパワー」の編集にあたって、編集委員会活動を再編し、時宜にあった特集、統計の充実や業界活動報告などその内容をより充実させ、HPを活用して広く一般にも紹介していく。
- ② 一般の方や学生に、わかりやすくフルードパワーを理解してもらうために、デジタルブック「フルードパワーの世界」や、東京工業大学香川名誉教授と北川名誉教授の協力を得て、「フルードパワー研究所」(YouTube 動画)をHPにリンクさせる。
- ③ 「月報フルードパワー」を、会員企業はもとより関係機関等に電子配信するとともにHPに掲載し広く広報に努める。
- ④ その他広報・PR活動に関する事業を推進し、当会が開催する講演会や技術講座、出版物等について積極的な広報・PR活動を行う。

6. 中小企業関連事業

中小企業を取り巻く経営環境を見ると、為替問題から、人材不足、燃料・素材費の高騰など、一社では解決できない課題が多く存在する。中小企業委員会と中小企業WGの活動を中心として、これら課題に対応すべく以下の事業を実施する。

- ① 中小企業委員会にて、需要業界や中小企業施策等の動向について、経済産業省等の協力を得て、情報収集・提供に務め、必要に応じて国内及び海外日系企業の視察等を行う。

- ② 中小企業 WG は、中小企業特有の共通した課題を抽出し、解決策について検討し、これを中小企業委員会に具申し、合同で議論検討する。その為に、必要に応じて視察等を行う。
- ③ 中小企業を支える福利厚生事業の「共済保険（生命・傷害）制度」の参加企業の拡充を図る。
- ④ その他中小企業の振興に必要な事業を実施する。

7. 振興対策・PL・その他事業

フルードパワー業界の更なる発展に資するための活動や業界を支える保険事業、フルードパワー研修事業他、年始会・総会・支部総会等を通じ、学会等業界関係者との交流を深め、業界の振興・発展を図る。

1) 振興対策事業

- ① 産機・建機部会、シリンダ部会、空気圧本部会を開催し、必要に応じ海外見本市の視察や工場視察を実施し、当業界の更なる発展に向けての活動を行う。
- ② 各部会の各地区部会や支部会を支援するとともに、必要に応じ本部委員も出席して意見交換を行う。
- ③ 2024 年に開催予定の IFPEX2024（2024 年 9 月 18～20 日）の成功を図るため、「IFPEX 実行委員会」を設置し、準備を開始する。
- ④ 第 32 回 JIMTOF 2024（2024 年 11 月 5 日（火）～11 月 10 日（日）の 6 日間）に会員企業が参加するため、工作機械関連団体協議会を通じその準備作業を行う。
- ⑤ その他振興対策に必要な事業を実施する。

2) PL 対策事業（リスク対策事業）

国内 PL 保険及び海外 PL 保険からなる団体総合保険制度の健全な運営を図るとともに、企業リスク等に関する情報収集を行う。

- ① 本保険制度の基盤を強化するため、ワールドインシュアランスグループ等と連携して参加会員企業の拡大を図るため PR 活動を引き続き実施する。
- ② 国内外地域を対象とした製造業者 E & O（経済損失カバー）保険制度については、引き続き関係者と連携して加入を進めていく。
- ③ 国内 PL 情報や海外 PL 情報及び様々な企業リ

スクを迅速に収集し会員企業に提供する。

3) その他事業

- ① 新入社員、若手社員等を対象としたフルードパワー研修事業（油圧と空気圧）を、昨年に引き続き、基礎講座の座学と製品実習を年間 2 回実施、油圧技能士（2 級）、空気圧技能士受験対策講座を年 1 回実施する。
- ② フルードパワーの国内における更なる発展のため、学校関係（大学、高専、工業高校）へ出向き、基礎講座（座学、製品実習）などの技術研修普及活動を行う。
- ③ 技術相談窓口を、フルードパワーシステム学会の協力を得て実施する。
- ④ 官公庁や関連団体等からの各種調査等の実施依頼と取りまとめ作業等を行う。
- ⑤ 年始会や総会後の懇談会・西日本支部総会を開催する。
- ⑥ 西日本支部活動を支援する。
- ⑦ その他本会の目的を達成するために必要な事業を実施する。

III. 会員状況

2023 年 4 月 1 日現在の会員数は、正会員 58 社、賛助会員 59 社である。

次に上記事業を実施するため、事務局から 2023 年度収支予算（案）を説明しました。本事業計画及び収支予算（案）について審議を行い、次回理事会へ上程することが承認されました。以上で審議が終了し 17：00 に会議は終了しました。

委員会開催・活動状況報告

（詳細については各担当者にご照会下さい）

~~~~~  
標準化事業  
~~~~~

油圧ポンプ・モータ分科会

日 時 12 月 6 日（火）、13:00～15:00

場 所 械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 庄司主査以下 9 名（うちリモート:9）

事務局 前畑

議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、投票済み案件の報告があり、ISO/SR17559：定期見直し

投票→継続(Confirm)、ISO/SR4392-3:定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO/PWII8426-1:新規案件登録可否投票→賛成、ISO/PWI8426-2:新規案件登録可否投票→賛成、で投票したとのこと。また、新規投票案件について審議し、ISO/TC131/SC8/N744:ISO/TC131/SC8/WG13 コンベナー任命投票→賛成、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「* ISO 関連情報」参照)。

次いで、10/27 開催(ウェブ会議)の ISO/TC131/SC8/WG13 国際会議の報告があった。

次いで、JISB8661(電気及び電子制御式油圧ポンプ試験方法)の改正について、対応国際規格(ISO17559)との比較を行い、改正必要有無を判断することとした。各委員で分担すべく、主査にて分担範囲を決めて、比較作業を行うこととした。
次回開催:3月14日、機械振興会館+リモート

油空圧シール分科会

日時 12月13日(火)、13:30~16:00
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 南主査以下12名(うちリモート:12)
事務局 前畑
議事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件の結果について報告があった。
ISO/TC131/SC7/Resolution03-2022:ISO3601-2 プロジェクト再開が承認された、ISO/CD5119:日本からのコメントは不採用となった、とのこと。ISO5119はDIS投票が掛かっているため、別途、小分科会にて検討することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「* ISO 関連情報」参照)。

次いで、JISB8396(油圧—シリンダー—往復動用ピストン及びロッドシールのハウジング—寸法及び許容差)の改正について、対応国際規格(ISO5597)と比較しながら改正作業を行った。
次回開催:3月22日、機械振興会館+リモート

空気圧コンタミ分科会

日時 12月20日(火)、13:30~16:00
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 田中主査以下4名(うちリモート:4)
事務局 前畑
議事

委員の交代があり、CKD:大嶽康行委員から渡辺貴大委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO 投票について、投票済み案件の報告があり、ISO/SR12500-2:定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO/SR8573-5:定期見直し投票→継続(Confirm)、で投票したとのこと。また、新規投票案件を審議し、ISO/SR8573-8:定期見直し投票→改訂必要、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「* ISO 関連情報」参照)。

次いで、9/15-16 開催(ドイツ・ノイス)の ISO/TC118/SC4/WG1 国際会議の報告があった。

次いで、JISB8392-4(圧縮空気—第4部:固体粒子含有量の試験方法)の改正について、対応国際規格(ISO8573-4)と比較しながら修正作業を行った。
次回開催:2月28日、機械振興会館+リモート

空気圧調質機器分科会

日時 12月21日(水)、13:30~16:00
場所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 土岐主査以下6名(うちリモート:6)
事務局 前畑
議事

前回議事録の確認後、ISO 投票について、投票済み案件の報告があり、ISO/DIS20145:DIS投票→賛成、で投票したとのこと。また、新規投票案件を審議し、ISO/SR8573-9:定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO/SR5782-1:定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO/SR6301-1:定期見直し投票→継続(Confirm)、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「* ISO 関連情報」参照)。

次いで、12/1 開催(ウェブ会議)の ISO/TC131/SC5/WG5 国際会議の報告があった。

次いで、ISO20145Annex(サイレンサ規格:日本提案)のDIS投票結果について討議した。本DISが規格本体も含めたプロジェクトとなっているため、Annexのみの審議となるようISOに交渉してはどうかとの意見があり、今後検討することとした。
次回開催:2月14日、機械振興会館+リモート

* ISO の動き

- 2022年度のISO/TC131 関連国際会議は、幾つかのSC/WGで1月以降もウェブ会議での開催が予定されている。
- 2023年度のISO/TC131 関連国際会議は、春季(5/8-12):ドイツ・フランクフルト、秋季(10/16-20):アメリカ・アトランタ、にて開催予定。

・2022年度のISO/TC118/SC3&SC4 関連国際会議は、
対面会議として計画されている。

・今月開催されたISO 国際会議は下記の通り。会議
の詳細については、別途、報告書を作成・発行し
ます。

12/01：TC118/SC3：

スウェーデン・ストックホルム：日本参加者 2

12/01：TC131/SC5/WG5：ウェブ会議：日本参加者 3

12/07：TC131/SC6/WG1：ウェブ会議：日本参加者 2

~~~~~

### 技術調査事業

~~~~~

技術委員会空気圧部会第 597 回特許分科会

日 時 12月9日（金）13：30～14：20

場 所 Web 会議

出席者 松本幹事以下 4 名

事務局 吉田

議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。
公報の検討と無効理由調査について、3 件について
は引き続き調査を行うこととした。1 件について新
たに調査を開始することとした。特許異議申立およ
び無効審判・検討経過チェック表の確認をした。

次回開催：1月27日（金）Web 会議

~~~~~

### 中小企業関連事業

~~~~~

中小企業委員会(WG)

開催日 12月7日(水)

出席者 見学会 11名

事務局 大熊

本年度第一回目となる中小企業委員会 WG 活動を行
った。

今回は福島県の南相馬市にある福島ロボットテスト
フィールドと浪江町にある福島水素エネルギー研究
フィールドについて見学を行った。

仙台駅に集合し、そこからバスで約1時間移動し、2
つのフィールドの見学を行い、また南相馬市による
企業誘致の説明を視聴した。

以下に詳細の説明を行う。

1-1. 福島ロボットテストフィールド

場所 福島県南相馬市

時間 13:00～14:00

災害対策に活用するロボットの開発のため実験を行
うフィールドとして多種多様な場所が想定されてお
り、ビルなどの高所、疑似の町、トンネル、水没し
た家などについて見学を行った。また、ドローン
を操作する用意されていた。



事前説明状況 1



事前説明状況 2



試験場 1



試験場 2



事前説明状況



ドローン試験管制塔



フィールド全体の模型



集合写真



実際の水素の生産状況

1-2. 福島水素エネルギー研究フィールド
 場所 福島県浪江町
 時間 15:00～16:00
 ソーラーシステムによって水素の生産を行う水素エネルギー研究フィールドの見学を行った。実際にどのようにして、水素の生産を行うかそのメカニズムや作られた水素の使用方法についての説明を聞き、各設備機器の見学を行った。



集合写真

1-3. 南相馬市の工場誘致についての説明会

場所 福島ロボットテストフィールド内会議室にて

時間 14:00～14:30

福島ロボットテストフィールド見学後、南相馬市より、各種工場の設置や運営における電気代のコスト削減や税制のメリットなどについて説明会が行われ視聴していただいた。



説明状況



油圧技能検定対策講座 座学 実施状況 1



油圧技能検定対策講座 座学 実施状況 2

~~~~~  
その他事業  
~~~~~

2022年度 技能検定対策講座

技能検定(国家検定)の後期に実施される、油圧装置調整(2級)と空気圧装置組立て(2級)の技能検定対策講座を実施した。参加者は総勢21名が参加した。以下に油圧と空気圧における技能検定対策講座の実施状況を示す。

油圧技能検定対策講座(2級)

出席者 参加企業4社6名

【座学】

日時 2022年11月30日(水) 9:00～16:00

場所 東京計器(株)本社 会議室

講師 東京計器^ハワシステム(株) 秋野様 熊野様

事務局 大熊

2019年度に出題された過去問題の、問題の詳細内容とその回答方法やその他毎年出題される問題について説明を行った。また、試験当日の対処方法や注意事項についても説明した。

【実技実習】

日時 2022年12月1日(木), 2日(金)

9:00～16:00

場所 東京計器(株)本社 会議室

講師 東京計器^ハワシステム(株) 神山様 金城様
事務局 大熊

油圧装置調整(2級)検定試験は、ペーパー試験と実技試験を行う。実技試験では、決められた芯出し装置の2軸の芯出し調整を行う試験である。本実技実習は、実技試験と同じ仕様の練習用の装置で、作業の手順や注意点を学び、実際に何台かの練習装置で芯出し作業を行うものである。

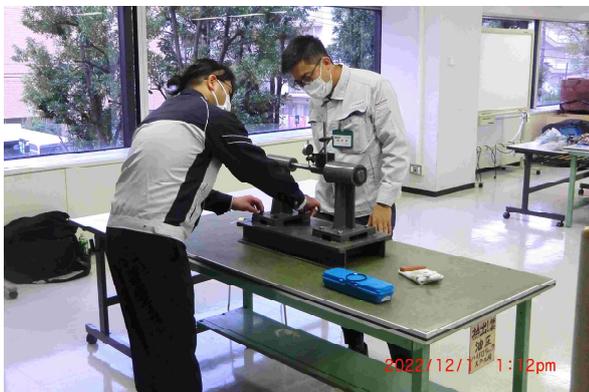
今回の参加者は11名おり、2日間に分けて実技実習を行った。



講師による作業手順の説明状況 1



講師による作業手順の説明状況 2



参加者の芯出し作業 1



参加者の芯出し作業 2

空気圧技能検定対策講座(2級)

出席者 参加企業 1社2名

【座学】

日時 2021年12月5日(月) 9:00~16:00

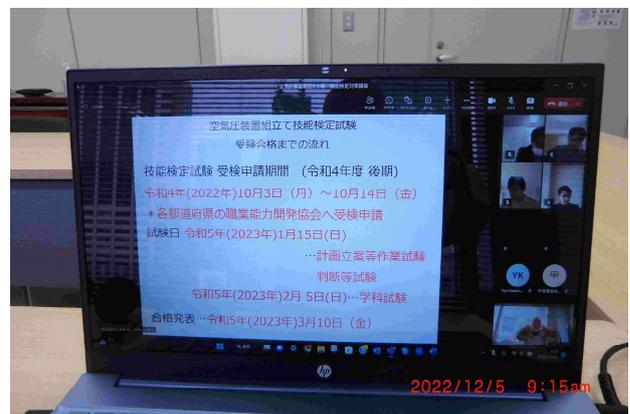
場所 機械振興会館 6-69 会議室

講師 SMC(株) 市瀬様

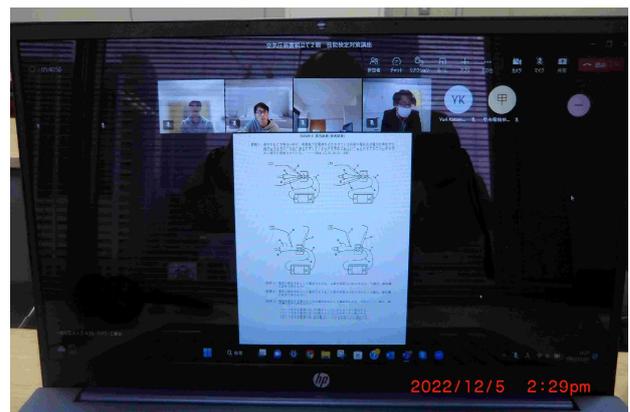
事務局 大熊

開催方法については、機械振興会館での参加と Web での参加のハイブリッドでの開催案内を出したが、参加された方は広島県、兵庫県、愛知県など遠方の方が多く全員 Web による参加であった。

2019 年度に出題された過去問題の詳細内容の回答方法やその他毎年出題されるひっかけ問題について説明を行った。また、試験当日の対処方法や注意事項についても説明した。



試験方法の説明の状況



過去問題の説明状況

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

※2023年

☆1月11日(水) 理事会・年始会

☆3月24日(金) 政策委員会

☆4月21日(金) 理事会・懇親会

☆5月18日(木) 定時総会・懇親会

☆5月19日(金) JFPA ゴルフ懇親会

~~~~~

12月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。(敬称略)

~~~~~

(標準化事業)

油圧ポンプ・モータ分科会

開催日 12月6日(火)

出席者

主査 庄司忠史(ダイキン工業)

委員 黒川道夫(イトトン)

〃 齋藤啓司(カヤバ)

〃 吉村勇(川崎重工業)

〃 賀集賢太郎(東京計器)

〃 鈴木健吾(不二越)

〃 林明宏(油研工業)

〃 宮田拓也(小松製作所)

〃 藪内愛智(日立建機)

油空圧シール分科会

開催日 12月13日(火)

出席者

主査 南暢(バルカー)

委員 安西祐二(阪上製作所)

〃 奥田智昭(三菱電線工業)

〃 但木郁夫(荒井製作所)

〃 寺島剛資(エア・ウォーター・マツハ)

〃 宮本博夫(NOK)

〃 宗岡祥平(NOK)

〃 高牟礼辰雄(JFPA)

〃 菅井勝利(SMC)

〃 曾谷崇(甲南電機)

〃 菊地大輔(東京計器)

〃 真田秀幸(日東工器)

空気圧コンタミ分科会

開催日 12月20日(火)

出席者

主査 田中崇行(SMC)

委員 三井康夫(オリオン機械)

〃 大嶽康行(CKD)

〃 渡辺貴大(CKD)

空気圧調質機器分科会

開催日 12月21日(水)

出席者

主査 土岐真人(コガネイ)

委員 赤羽啓一(アズビルTACO)

〃 檜垣匡光(SMC)

〃 阪上隆之(甲南電機)

〃 國崎雄嗣(CKD)

〃 高橋佑司(TAIYO)

ISO/TC118/SC3 国際会議

開催日 12月1日(木)

出席者

委員 田野功二(瓜生製作)

〃 久門崇也(瓜生製作)

ISO/TC131/SC5/WG5 国際会議

開催日 12月1日(木)

出席者

委員 小田敏裕(甲南電機)

〃 土岐真人(コガネイ)

〃 妹尾満(SMC)

ISO/TC131/SC6/WG1 国際会議

開催日 12月7日(水)

出席者

委員 難波竹己(日本ボール)

〃 阪口拓也(MORESCO)

(技術調査事業)

技術委員会空気圧部会

第597回特許分科会

開催日 12月9日(金)

出席者

幹事 松本啓佑(コガネイ)

委員 井野雅康(SMC)

〃 安田善仁(甲南電機)

〃 瀧 芳久(CKD)

(中小企業関連事業)

中小企業委員会 WG

開催日 12月7日(水)

出席者

幹事 奥嶋一輝(タカコ)

〃 小泉加奈子(大生工業)

委員 正田勇介(堀内機械)

〃 田村智史(マツイ)

〃 山崎真人(廣瀬バルブ工業)

〃 桐生邦彦(オックスジャッキ)

〃 舘満正(神威産業)

〃 高野和治(光陽精機)

〃 風間英朗(日本アキュムレータ)

〃 高橋友則(三尾製作所)

〃 八重樫正樹(南武)

(振興対策事業)

シリンダ部会

開催日 12月1日

出席者

部会長 原俊之(カヤバ)

委員 藤井茂男(光陽精機)

〃 中島一成(TAIYO)

〃 足立琢哉(南武)

〃 吉富英明(南武)

〃 沢辺充(三尾製作所)

空気圧本部会

開催日 12月6日

出席者

部会長 湯原真司(CKD)

副〃 小倉浩史(SMC)

幹事 中村賢次(ニューエラー)

会計 長谷川靖(甲南電機)

委員 川端啓之(アズビルTACO)

〃 鶴羽正徳(コガネイ)

〃 池燦圭(TAIYO)

〃 澤田啓支朗(タイヨーインタナショナル)

産機建機部会

開催日 12月7日

出席者

部会長 寺田稔(ダイキン工業)

委員 本高健治(川崎重工業)

〃 前山宣則(カヤバ)

〃 松井基幸(島津製作所)

〃 橘高道治(ダイキン・ダウ・ダノフォス)

〃 上田真也(ナブテスコ)

〃 手塚隆広(油研工業)

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<12月>

1日(木)

・振興対策事業 シリンダ部会

6日(火)

・標準化(委) 油圧ポンプ・モータ分科会

・振興対策事業 空気圧本部会

7日(水)

・振興対策事業 産機建機部会

9日(金)

・技術委員会空気圧部会第597回特許分科会

13日(火)

・標準化(委) 油空圧シール分科会

20日(火)

・標準化(委) 空気圧コンタミ分科会

21日(水)

・標準化(委) 空気圧調質機器分科会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省のHPでは①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁HPでも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>